



福祉用具をうまく活用できるように支える

病気を抱えている人やその家族を支える

家族や子どもを支える

障害のある人を支える

NPOとして支える

海外で問題を抱える人を支える

制度や法律で支える

地域での生活を支える

優しい気持ちで支える

将来ビジョン

ユニバーサルデザインの街や道具で支える

安全な住環境で支える

生活困窮者を支える

Vision in the future

社会福祉と福祉用具とユニバーサルデザインが学べる

社会リハビリテーション学科

ハート(ひと)とハード(もの)で福祉を拓く社会リハビリテーション

ハート(ひと)を学ぶ...

誰もが安心して自分らしく生きることを願います。その願いを支えるため、生活上の問題がある人にどのように接点を持ち、どのように必要とするサービスにつないでいくか、さらにはサービスをどのように運営していくか(知識と技術)を、ひとと深く関わりあう演習や講義、現場での実習を通して学ぶことができます。

ハード(もの)を学ぶ...

障害や加齢によって自分でできないことが増えていきます。福祉用具やユニバーサルデザインの道具を用いることで、できなくなったことができるようになります。福祉用具を見て触って、まさに福祉用具を使ってかけて自ら問題点を発見する、住宅の中で福祉用具を用いて生活してみるなど、実践中心で学ぶことができます。

神戸学院大学総合リハビリテーション学部では国家試験受験資格を取得できます。  
社会リハビリテーション学科:社会福祉士、精神保健福祉士  
医療リハビリテーション学科:理学療法士、作業療法士

<http://www.kgu-sr.net/>

神戸学院大学  
総合リハビリテーション学部

社会リハビリテーション学科HP <http://www.kgu-sr.net/>  
神戸学院大学 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518 Tel: 078-974-1551

第12回

気づきを築くユニットケア  
全国実践者セミナー in神戸

2013年3月16日(土)~17日(日)

神戸学院大学 有瀬キャンパス  
[〒651-2180 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬518]



認知症ケア専門士単位  
2単位

本セミナー参加で  
取得することができます。

「気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」は、2001年の岡山県笠岡市をスタートに、これまで全国7か所で開催し、毎回多数の実践現場からの日々の取り組みの発表を受け、実践者の交流を深めてきました。

ひとくちにユニットケアと言っても、その取り組みは施設によって実にさまざまです。既存施設を活用しながら、試行錯誤を重ねてようやくユニットケアに至った取り組みがある一方、真新しいユニット型のハードが整っていないながら、ケアの質が追いつかず、職員もお年寄りも疲れてしまった例もあります。

このセミナーは、「ユニットケアの基本は現場の実践にある」との考えから、現場のスタッフが、ケアのあり方やスタッフの育成、施設と地域との連携などの実践をまとめ、伝え合い、交わり合い、より良いものにしていく場として開催します。このセミナーでの発表を機に、「お年寄りの表情が変わった」「職員の姿勢が変わった」「ケアが変わった」など、数多くの感想が寄せられています。

第12回目となる今回も、全国の実践発表をとおして、発表者と参加者がともに学び、考え合う場とすることを目的とし、神戸学院大学を会場に開催いたします。

主催: 気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会  
共催: 神戸学院大学/特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

Let's make the life of facilities!

# 2日目 3月17日(日)

**A会場** 定員400人

**【アンコール報告】**  
～好評だった発表のあれから1年、その後の展開を報告します～

実践報告① “帰りたい”にかくされた本当の想い  
三豊市立西香川病院(香川県) 看護師 **大森清美**

実践報告② 暮らしに彩りを…ユニットケアを通して～  
和里くまこ(奈良県) ユニットリーダー **岩岡克己**

10:00  
12:00

実践報告③ 働きやすい職場作り  
ジョイフル各務原(岐阜県) ユニットリーダー **山口高文**

★インタビュー  
神戸学院大学 総合リハビリテーション学部  
社会リハビリテーション学科 講師 **水上 然**

12:00  
13:00

**昼食・休憩**

13:00  
15:00

**【現場実践支援講座2】**  
**認知症高齢者とのコミュニケーション法**  
～バリデーションとは～

★講師  
関西福祉科学大学 社会福祉学部  
准教授 **都村尚子**

**B会場** 定員300人

**【現場実践支援講座1】**  
**「ユニットケアにおける高齢者の権利擁護」**

10:00  
12:00  
12:00  
13:00

全国権利擁護支援ネットワーク 事務局長 **上田晴男**

**昼食・休憩**

**【ディスカッション】**  
**今こそ考え合おう!**  
**ユニットケアはどのように生まれてきたか?**  
**そしてこれからどうなるのか?**

13:00  
15:00

★パネラー  
岩崎あいの郷(愛知県) 施設長 **日比野浩之**  
レインボーハイツ(北海道) 施設長 **石丸 司**  
特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代表 **武田和典**

★コーディネーター  
東北福祉大学 総合福祉学部 教授 **高橋誠一**

**C会場** 定員100人

平成24年度厚生労働省 社会福祉推進事業  
「社会的孤立防止のための活動の実態把握と社会資源開発等に関する調査研究事業」

**【特別企画・入Dはユニットケア、出Dは地域1】**  
**『過疎のまちで生き生き ～支え合いの取り組み～』**

今、少子高齢化により人口が大きく減少しつつある日本において、過疎集落の問題は、人ごとではありません。過疎地域で生きていくために、取り組まれている活動をもとに、この問題を考えます。

★コーディネーター  
東北福祉大学 総合福祉学部 教授 **高橋誠一**

**昼食・休憩**

**【特別企画・入Dはユニットケア、出Dは地域2】**  
**『地域の声を聞け! ～今、必要とされるケアのかたち～』**

高齢者のみならず地域で必要とされている支援、制度だけにとられない支援のあり方について、話し合います。

★コーディネーター  
神戸学院大学 総合リハビリテーション学部  
社会リハビリテーション学科 教授 **藤井博志**

# 1日目 3月16日(土)

- 11:50～12:00 **開会(各教室にて)**
- 12:00～14:05 **実践リレー①(5発表)**
- 14:05～14:20 **休憩**
- 14:20～16:25 **実践リレー②(5発表)**
- 16:25～16:40 **休憩**
- 16:40～17:55 **実践リレー③(3発表)**
- 18:30～20:30 **交流会(事前申し込み制)**

## 発表テーマ

**第1部門**  
私たちがはじめた、一人ひとりを大切にケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)  
ユニットケアに取り組むことになったきっかけや、取り組みのなかで失敗してしまったこと、悩んだことなどの体験談、また取り組みから気づいたことや見えてきたことなどについて発表します。

**第2部門**  
一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫(基礎編)  
ユニットケアで3大介護(食事・入浴・排泄の介護)はどのように変わるのか。3大介護にまつわる苦労や工夫について発表します。

**第3部門**  
“食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし  
食事づくりや場づくり、買い物や外食、栄養マネジメントや口腔ケアなど、その人らしい豊かな暮らしを目指す取り組みを発表します。

**第4部門**  
これまでの暮らしの継続を大切に生活環境づくり  
豊かに暮らすためには生活環境も欠かすことのできない要素の一つです。これまで暮らしてきた環境をできる限り変えないための居室の設え、既存施設の改修や改築の工夫、また新型施設ならではの設えの工夫などを発表します。

**第5部門**  
介護者家族との協働で実現する、その人らしい暮らし方  
利用者に身近な存在である家族はかけがえのない大切な存在であり、またさまざまな難しさを抱えていることもあります。ご本人が望まれるその人らしい暮らしと、その人生を実現するための、家族との関係づくりや協働・連携の取り組みについて発表します。

**第6部門**  
ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと  
施設は、日々の暮らしを過ごすだけでなく、人生の最期の場となる時もあります。「施設での看取りのあり方」「医療機関との連携」「看取りを感ずるための工夫や取り組み」とともに、そうした職員の評価や方法などについて発表します。

**第7部門**  
リーダーの悩みと工夫、育成と支援の方法  
ユニットごとで、ケアの質に大きな差が生じることがあります。そのために、ユニットの要となるリーダーが悩み苦しむ時があります。そうならないために、リーダーを支えながら育てていく工夫や、リーダー自らの取り組みなどを発表します。

**第8部門**  
一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携  
一人ひとりの暮らしを支えるには、その方向性や情報を共有するチームの構築や職種を超えた連携が必要不可欠です。時には、施設を越えた連携や協働も必要になります。ケアに関わる専門職同士が協力しながら、利用者の暮らしを、より豊かにする取り組みを発表します。

**第9部門**  
ユニットケアを支える職員育成・組織づくりや管理者の役割  
職員一人ひとりの気づきを大切に新人教育や職員育成、職員それぞれが成長できる組織づくりの工夫、また利用者に近い職員が迅速かつ柔軟に判断し、対応できるように組織の改革、そのために必須となる管理者の役割などを発表します。

**第10部門**  
職員のやる気とやりがいを大切に工夫とその評価  
昨今、ケアの現場では人手不足が深刻な問題となっています。職員がやる気をだし、自分の仕事にやりがいを感じるための工夫や取り組みとともに、そうした職員の評価や方法などについて発表します。

**第11部門**  
災害に備える・取り組み一施設の役割や地域との関わり方  
災害がおこると施設やその職員が被災者となる一方、要援護者が利用する福祉避難所等、地域から求められる役割を果たすことが期待されています。減災のための施設の体制や取り組み、地域との支え合いや関わり方についての検討や計画等を発表します。

- 定員 800人(※定員になり次第、締め切らせていただきます)
- 参加費 ■一般参加費 15,000円  
■ユニットケア研究会員・実践発表者 13,000円  
※施設会員は2人まで、個人会員は1人まで割引適応。  
※実践発表者は、1発表2人まで割引適応。
- 交流会費 2,000円 ●参加申込締切 2013年2月15日(金)

**参加にあたっての留意点**

1日目の実践発表は、各教室にて自由にお聞きいただくこととなります。つきましては、参加者が多い教室では立ち見となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。参加者の皆さまには、申込締切後、教室別の実践発表一覧をお送りいたします。一覧を参考に、各教室を移動してお聞きいただくこととなります。

なお、2日目の各会場につきましては、事前にお申し込みいただきますので、参加申込書に第1希望から第3希望までご記入ください。

**申し込みに関するお問い合わせ**

JTB東北ECデスク  
(ご連絡いただくのは東京の事務所となっております)  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14  
ダイヤル・ニッセイ池袋ビル7F JTBビジネスネットワーク気付  
JTB東北ECデスク  
「第12回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」あて  
電話:0120-989-960 FAX:03-5396-8145  
E-mail: tohoku-ec@jbn.jtb.jp  
(営業時間:土日祝除く平日 9:30～17:30)

**内容に関するお問い合わせ**

気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー実行委員会  
事務局/特養・老健・医療施設  
ユニットケア研究会 担当:田村・高木・島田  
〒981-0932 宮城県仙台市青葉区  
木町16-30 シンエイ木町ビル1階  
TEL:022-727-8732  
FAX:022-727-8737  
E-Mail:unit@clc-japan.com  
URL:http://www.clc-japan.com